

連携いいわい

令和4年9月

第36号

岩手県立磐井病院

どこでも医療講座

昨今のコロナ禍で令和2年から休止していましたが、『どこでも医療講座』を、2年振りに再開いたしました。市民センター等のインターネット環境のある会場を使用いただき、Zoomを通じて開催することが出来ました。

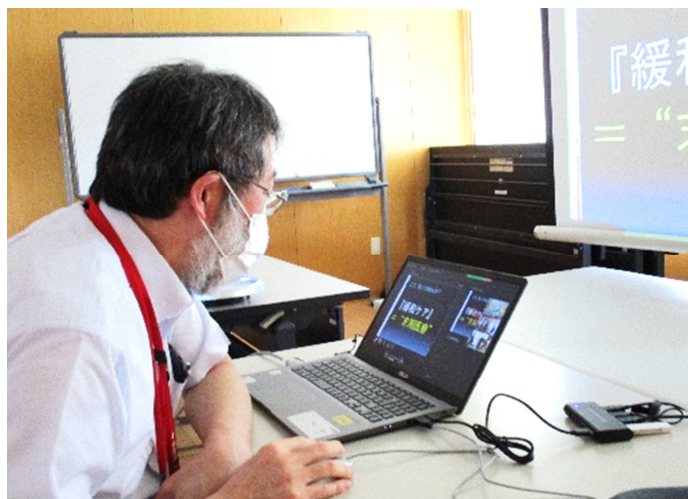
現在は原則リモートでの開催をお願いしている状況ではございますが、参加者の皆様からは

- ・「久しぶりに磐井病院の人にお話を聞いて良かった」
 - ・「来られなかった人に今日のお話を伝えてあげたい」
- など、好評をいただきました。



↑松澤看護師による手洗い講座の様子（第7波が広がる前の落ちついた時期に現地開催したものになります）

←緩和医療科 平野医師による緩和ケアのすすめ講座の様子



どこでも医療講座とは、地域の方々の希望に応じて当院の職員を地域で開催される講演会の講師として派遣し、講座を開催するものです。

講演時間は1時間程度とし講演料や派遣料はいただいておりません。

講座を通じてご自身の健康や医療のことをより多く知っていただきたいと考えております。

どこでも医療講座のお申し込みは、当院ホームページ下部『病院職員が出張します「どこでも医療講座」』から専用ページにて申込用紙をダウンロードしていただき、地域連携室 FAX 0191-23-3990 までご連絡ください。

または、当院地域連携室へ直接お電話にてお問い合わせください。

地域連携室 主事 福島 拓哉

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

<岩手県立磐井病院 基本方針>

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

Contents

- どこでも医療講座・・・1
- 術後疼痛管理について・・・2
- 研修医紹介・・・3
- 耳鼻いんこう科紹介・・・4
- 小児科予約制のお知らせ・・・4





術後疼痛管理について

岩手県立磐井病院 手術看護認定看護師 門間 りえ

『手術＝痛い』皆さん連想すると思います。手術後の痛みは、痛み自体のつらさに加えさまざまな合併症にもつながるため、痛みを最小限にして患者さんが早期に社会復帰できることを目標に適切な術後疼痛管理を行うことが大切です。手術後の痛みを取り除く主な方法をご紹介します。

硬膜外麻酔

(硬膜外腔に細いカテーテルを留置し、局所麻酔薬やオピオイドを持続投与する方法) 主に開腹手術や開胸手術の際に全身麻酔に併用して用いられます。手術中の痛みをコントロールするだけでなく、背中に入れたカテーテルから鎮痛薬を投与することで術後も持続的に鎮痛効果を得ることができます。



IV-PCA(静脈ルートを用いて鎮痛剤を投与する方法)

点滴から持続的に鎮痛薬を投与します。痛いときにボタンを押すと決められた安全な量の鎮痛薬が注入され、患者さん自身が疼痛をコントロールすることができます。



その他

○鎮痛薬(オピオイド・NSAIDs・アセトアミノフェン等)の筋肉注射、静脈注射、皮下注射、座薬による投与

※NSAIDsとは「エヌセイズ」と読み(Nonsteroidal anti-inflammatory drugs)の略称です。

非ステロイド系消炎鎮痛薬のことで、痛みを和らげたり炎症を抑えたりするために使用されるお薬で、薬局でもお買い求めいただけます。

○神経ブロック

抗凝固療法・抗血栓療法の中断リスクが高く、硬膜外麻酔を行えない場合や四肢の手術で行います。

体表痛を抑える効果があり、施設によってはカテーテルを留置し持続的な鎮痛を行います。



「術後疼痛管理チーム加算(A242-2)」が、令和4年度の診療報酬改定で新設されました。

急性期病院で、麻酔科医師が中心となった多職種で構成されたチームで全身麻酔後の**患者さんへ質の高い術後疼痛管理を実施した場合**に算定対象となります。

磐井病院では現在術後疼痛管理チームを結成し、より良質な疼痛管理の実現に向けて準備しております。痛みから解放されることで、少しでも手術への恐怖感や不安を取り除けるよう、麻酔科医師と共に手術を受ける患者さんを支えて行きたいと思っております。



よろしくお願いします



研修医

今年度は計8名の研修医が加わりました。
2年間よろしくお願いします。

- ①出身大学
- ②ひとこと



杉 悠里

- ① 秋田大学
- ② 精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



千田 春佳

- ① 東北大学
- ② 一関で働くことができ、嬉しいです。患者さんのために、一生懸命がんばります。



森戸 文香

- ① 順天堂大学
- ② 地元東北の医療に貢献できるよう、精一杯励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



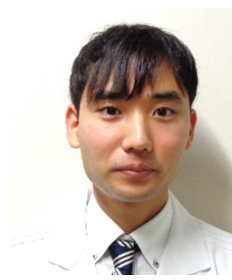
中島 優香

- ① 東北大学
- ② よりよい医療を提供できるよう、日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。



太田 樹

- ① 東北大学
- ② 新しく採用されました研修医1年目の太田です。出身は一関市です。毎日勉強して精進できるよう頑張るので、よろしくお願いいたします。



古川 太志

- ① 岩手医科大学
- ② 患者さんの気持ちや背景など、考慮できるように頑張ります。



ジャヤデワン
アラビンダ インディカ

- ① セグド大学
- ② 磐井で新たなキャリアがスタートし、有意義な2年間になるよう頑張ります。



五十峯 吉紀

- ① 東北医科薬科大学
- ② いち早く即戦力として一関の医療に貢献できるよう精進してまいります。至らない点多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

耳鼻いんこう科の紹介



磐井病院耳鼻咽喉科の吉田拓矢と申します。

常勤医師の交代に伴い、あらためて現在の当科診療体制についてご案内申し上げます。

地域の耳鼻咽喉科診療を支えられるように、尽力してまいりますので、何卒皆様のお力添えを頂ければ、幸甚です。

予約は紹介センターを通して取得いただく仕組みです。

外来診療は毎日行なっていますが、手術日(月・水・金)は、予約数によっては調整させていただく場合がございますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

急を要する病態の場合は、いつでもお受け致しますので、直接お電話にて、ご相談いただければと存じます。

常勤医師

吉田拓矢

小泉祥太郎

石垣賢人



非常勤医師(月2~4回)

耳科診療・手術応援 池田 怜吉(岩手医科大)
頭頸部癌診療 東 賢二郎(東北大学)

主な診療対象

- ・耳 中耳炎、外耳炎、**難聴、耳鳴、補聴器の相談**
- ・鼻 アレルギー性鼻炎(**重症例には、舌下免疫療法や手術も施行します**)
急性/慢性副鼻腔炎、鼻ポリープ、鼻出血、嗅覚障害
- ・口腔・咽喉頭 **嚥下障害**、急性/慢性咽喉頭炎、扁桃炎、喉頭蓋炎、口内炎、声帯ポリープ、頸部膿瘍
- ・その他 睡眠時無呼吸症候群(**必要に応じて外科的介入も行います**)
めまい、顔面神経麻痺、頭頸部腫瘍

県立磐井病院の小児科は予約制になりました。



当院小児科の役割として、検査や入院加療が必要な患者さんに対する二次診療や慢性疾患の患者さんへの対応が優先されること、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱やかぜ症状等の患者さんの診察にも以前の数倍もの時間がかかるようになってことから、外来診療について、

令和4年8月1日(月)より予約制とさせていただきます。

近隣の先生方には大変ご不便をおかけしますが、当院の状況をご賢察のうえご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>